

AFF

AICHI FENCING FESTIVAL

第 63 回 中日本フェンシング選手権大会 presented by  GROUP

スカイホール豊田 2024.06.08 (土) — 09 (日)
SKY HALL TOYOTA

プライムツリー赤池 2024.06.30 (日)
PRIMETREE AKAIKE



人に 「素敵」を。



NTPホールディングス



NTP名古屋トヨペット



NTPトヨタ信州



トヨタレンタリース名古屋



トヨタホーム名古屋



ジェームス名古屋



NTPセブンス



NTPシステム



NTPカーモスト

ROLLS-ROYCE
MOTOR CARS

NTPインポートHD

Volkswagen

NTP-VG

V O L V O

NTP-VC

PORSCHE

NTP-PC

Audi

NTP-AC



www.ntpgroup.jp



大会概要

2024

6.08 [SAT]

会場 | スカイホール豊田

6月8日(土) 男子フルーレ

【シニア】【高校生】【中学生】【小学生 5,6 年 / 3,4 年】

6.09 [SUN]

6月9日(日) 女子フルーレ

【シニア】【高校生】【中学生】

【小学生 5,6 年 / 3,4 年 / 男女混合 2 年以下】

6.30 [SUN]

会場 | プライムツリー 赤池

【小学生 5,6 年 / 3,4 年 決勝】 13:00 -

【はじめてのフェンシング体験】 15:30 -

NTP GROUP

KSG 教育産業 株式会社

AMANO 天野エンザイム株式会社

KL SPORTS

WEX 新日本ウエックス株式会社
キレイを、確実に

HAYASHI
TELEMPU

M 株式会社マルエム商会

meiji

DAIKYOHTA
ダイキョーオータ

TAMADIC

フルエング株式会社

近畿日本ツーリスト

Kyosei
Printing Co., Ltd.

YONEX
far beyond ordinary

現場の相棒
ビタミンゼリー

主催：愛知県フェンシング協会
後援：(公社) 日本フェンシング協会
(公財) 豊田市スポーツ協会
愛知県 豊田市 日進市
協力：(公社) 愛知県理学療法士会

共催：名古屋フェンシング協会
(公財) 愛知県スポーツ協会
(公財) 名古屋市教育スポーツ協会

Communications

映像・音響・ICTで、ビジネスを変え、社会を変える。



講義室マルチメディアシステム
遠隔講義システム
パソコン教室
語学演習システム (CALL)
電子黒板システム
タブレットPC
テレビ会議システム
会議・講義システム
同時通訳システム
大型マルチディスプレイ
映像配信システム
監視カメラシステム
ハイビジョン機器
デジタル映像機器
映像スクリーン
ホール音響システム
非営放送システム
施設内放送システム
プロオーディオ機器
印刷機・オフィスワーク機器
映像・デジタルコンテンツ
映像ソフト企画制作
映像音響機器レンタル

KSG 教育産業株式会社

本社：名古屋市中区丸の内3丁目18-28

〒460-0002 TEL(052)971-3011

営業所：東京・静岡・浜松・豊橋・岡崎・豊田・岐阜・三重

URL <https://ksg.co.jp/>

大会スケジュール

スカイホール豊田

6月8日(土) 男子フルーレ

シニア・高校生・中学生 小学5・6年 / 小学3・4年	コール受付	08:30 - 09:20
	試合開始	10:00
シニアスーパーシード選手	コール受付	11:00 - 11:30
	試合開始	

6月9日(日) 女子フルーレ

シニア・高校生・中学生 小学5・6年 / 小学3・4年 小学2年以下(混合)	コール受付	08:30 - 09:20
	試合開始	10:00
シニアスーパーシード選手	コール受付	11:00 - 11:30
	試合開始	

プライムツリー赤池

6月30日(日) 小学5・6年 / 小学3・4年 決勝

小学5・6年 / 小学3・4年	コール受付	10:30 - 12:00
	試合開始	13:00
はじめての フェンシング体験	15:45 - 17:30	

見えない もので 世界はできている

酵母やカビや細菌。見えない微生物が生み出す、見えない酵素の力に遠い昔から人類は気づき、大切に受け継いできた。食料、飲料、衣服。多くのジャンルで長い時間をかけて培ってきた発酵文化がある。その叡智を進化させたバイオテクノロジーが今、持続可能な世界を作るための手段として注目されている。そして酵素の種類は、いま発見されているだけで 8000 以上。そのうち 2000 種類はなんと、私たちの体の中にある。見えない未来を救うのは、見えない酵素の力かもしれない。

酵素－無限の可能性を求めて



酵素の世界ようこそ



<https://mienaimono.jp/>



天野エンザイム株式会社

愛知県名古屋市中区錦一丁目2番7号
電話：052-211-3034

ごあいさつ



愛知県フェンシング協会 会長

後藤 泰之

2024 年はパリでオリンピック・パラリンピックが開催され、フェンシング競技は 2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会を上回る成績が期待されています。さらに、2026 年に愛知県と名古屋市で開催される第 20 回アジア競技大会に向けて、愛知県フェンシング協会は中日本フェンシング選手権大会の規模を拡大してまいりました。

『未来を、斬り拓く。』という協会理念のもと、フェンシングを通じて地域や社会に貢献し続けることで、「愛知県外のフェンシング協会」だけでなく、サッカーや体操などの「他競技の団体」からもご相談を受けることが多くなっております。これも地方競技団体のロールモデルになりたいと取り組んできた成果だと感じております。

小学 5、6 年生および 3、4 年生の決勝戦においては、ショッピングモール『プライムツリー赤池』で開催することで、選手に会場全体から注目を浴びる機会を提供するとともに、一般の方にもフェンシングを身近に感じていただきたいと思います。また、大舞台の環境に近づくために、さまざまな演出を行い、フェンシングをエンターテインメントとして捉え、アジア競技大会に少しでも興味を持っていただけたらと考えております。

第 63 回中日本フェンシング選手権大会が皆様にとって思い出に残る大会となるよう、関係者一同準備を進めてまいりました。本大会の開催にあたり、ご協賛いただいたスポンサー各社様、そして、準備や運営にご尽力いただいた豊田市と日進市の皆様、並びに関係者全ての方々に心より感謝申し上げます。



2024.6 OPEN

Archery and Fencing Center aichi

日本初、フェンシングとアーチェリー専用の複合施設 produced by **KL**SPORTS

フェンシングスクール 開校予定

2024.08



A&Fセンター開設・利用募集開始

2024.06



アーチェリースクール

2023.06
(開校済)



Archery and Fencing Center aichi

〒486-0941 愛知県春日井市勝川新町1-27

TEL 0568-34-1222 MAIL info@kls.co.jp LINE <https://lin.ee/d9VfKsC>

KLスポーツは中日本フェンシング選手権大会を応援しています



協会理念

AFF

AICHI FENCING FESTIVAL

第 63 回 中日本フェンシング選手権大会 presented by **ALP** GROUP



愛知県フェンシング協会は、フェンシングに携わるすべての皆様に、フェンシングを通じて笑顔をお届けられるような機会を届けて参ります。

また、東海地区を中心とした日本におけるフェンシングの普及活動を行うことにより、より多くのファンに感動を、プレーヤーに喜びと健康をもたらすだけでなく、東海地区そして日本のスポーツ界をリードするモデルの確立を目指しています。

パートナーシップ及びスポンサーシップを通じてその成功の喜びを分かち合うだけでなく、フェンシングというスポーツが、効果的かつ特徴をもったマーケティング・プラットフォームとしてのポジションになれるよう、広報・PR 活動だけでなく、インターネットやソーシャルメディアを活用し、認知の向上とファン層の拡大を目指します。



第1回～第62回 優勝者

	男子一部		男子二部		女子一部	女子二部
	フルーレ	エペ				
第1回 (1961)	真野 一夫 (愛知クラブ)	_____	吉田 勝雄 (名古屋電気工業高校)		堀 節子 (婦負農業高校)	_____
第2回 (1962)	真野 一夫 (愛知クラブ)	_____	平野 久夫 (名古屋電気工業高校)		神谷 宣子 (愛知クラブ)	_____
第3回 (1963)	後谷 武司 (関西学院大学)	_____	広田 正樹 (名古屋電気工業高校)		内田 紅美子 (熊毛南高校)	_____
第4回 (1964)	真野 一夫 (愛知クラブ)	_____	鶴田 良武 (名古屋電気工業高校)		清水 睦子 (愛知クラブ)	_____
第5回 (1965)	松浦 末広 (愛知工業大学)	若杉 和彦 (愛知工業大学)	奥村 哲夫 (平安高校)		境 敦子 (中京女子大学)	_____
第6回 (1966)	高柳 章二 (同志社大学)	綿榎 祥二 (関西大学)	川津 正徳 (名古屋電気工業高校)		加藤 厚子 (中京女子大学)	_____
第7回 (1967)	松浦 末広 (愛知工業大学)	藤巻 茂 (法政大学)	安田 英一 (立命館高校)		高橋 郁子 (中京女子大学)	_____
第8回 (1968)	真野 一夫 (愛知クラブ)	久保田 悦司 (中京大学)	高木 敏行 (同志社高校)		安田 百合子 (中京女子大学)	_____
第9回 (1969)	若杉 和彦 (愛知工業大学職員)	岩本 達郎 (南山大学)	天野 良広 (中京高校)		横山 みち子 (名城大学)	_____
第10回 (1970)	小寺 篤志 (愛知工業大学)	土井 信夫 (中京大学)	杉本 政彦 (立命館高校)		竹丸 友恵 (中京女子大学)	_____
第11回 (1971)	奥田 明 (名古屋電気工業高校教)	久保田 悦司 (中京大学O B)	亀井 亮 (同志社高校)		正地 れい子 (中京女子大学)	_____
第12回 (1972)	奥田 明 (名古屋電気工業高校教)	堀江 修 (京都産業大学)	島袋 久雄 (太成高校)		下田 直子 (中京女子大学)	_____
第13回 (1973)	野田 昭夫 (愛知工業大学)	堀江 修 (京都産業大学)	杉本 美博 (名古屋電気工業高校)		杉原 節代 (中京女子大学)	_____
第14回 (1974)	奥田 明 (名古屋電気工業高校教)	石田 正夫 (和歌山県庁)	府川 公義 (法政大学第二高校)		杉原 節代 (中京女子大学)	_____
第15回 (1975)	川津 正徳 (丸和海物産K K)	石田 正夫 (和歌山県庁)	池田 暢 (法政大学第二高校)		杉原 節代 (中京女子大学)	_____
第16回 (1976)	川津 正徳 (丸和海物産K K)	竹内 周次 (高山西高校教)	中村 哲夫 (名古屋電気工業高校)		岡 秀子 (成徳学園高校教)	畠中 あや子 (同志社高校)
第17回 (1977)	藤田 裕司 (和歌山県教育庁)	岩田 純二 (京都産業大学)	湯浅 明久 (西大寺高校)		加治原 由香里 (和歌山県教育庁)	西村 登記子 (四天王寺高校)
第18回 (1978)	村原 憲明 (愛知工業大学)	滝沢 光義 (長野県箕輪町職員)	丹羽 健治 (名古屋電気高校)		伊藤 真知子 (和歌山北高校教)	及川 あずさ (四天王寺高校)
第19回 (1979)	藤田 裕司 (和歌山県教育庁)	平田 幸広 (津実業高校教)	大塚 雅之 (石山高校)		伊藤 真知子 (和歌山北高校教)	岸田 陽子 (下津女子高校)
第20回 (1980)	村原 憲明 (滋賀県庁)	滝沢 光義 (長野県箕輪町職員)	土谷 雅宏 (和歌山東高校)		伊藤 真知子 (和歌山北高校教)	川上 紀左子 (和歌山北高校)
第21回 (1981)	市川 浩之 (和歌山県教育庁)	永井 宏尚 (島根クラブ)	黒田 清志 (高山西高校)		高橋 由紀子 (滋賀県庁)	南 里美 (和歌山東高校)
第22回 (1982)	東 伸行 (和歌山県教育庁)	天野 良広 (愛知クラブ)	富田 隆 (大垣南高校)		平田 圭子 (草津東高校教)	米田 敏子 (安来高校)
第23回 (1983)	子安 英八 (和歌山県教育庁)	_____	東 松生 (愛工大名電高校)		斉藤 優子 (和歌山県教育庁)	榎本 雅代 (和歌山東高校)
第24回 (1984)	東 伸行 (和歌山県教育庁)	_____	三宅 利英 (和歌山北高校)		山中 緑 (近鉄百貨店)	吉田 佳寿子 (岐阜女子商業高校)
第25回 (1985)	藤田 裕司 (和歌山県教育庁)	_____	山崎 龍太 (鴨沂高校)		市川 真知子 (和歌山北高校教)	田中 美咲 (瀬戸高校)
第26回 (1986)	村原 憲明 (滋賀県庁)	_____	桑原 寛文 (大垣南高校)		丸山 妙 (山梨クラブ)	後藤 美香 (岐阜女子商業高校)
第27回 (1987)	土谷 雅宏 (和歌山クラブ)	_____	西口 治伸 (和歌山北高校)		峯 啓子 (和歌山クラブ)	吉松 美紀 (瀬戸高校)
第28回 (1988)	東 伸行 (和歌山県教育庁)	_____	井口 勝裕 (立命館高校)		峯 啓子 (和歌山クラブ)	生駒 律子 (木津高校)
第29回 (1989)	村上 幸生 (和歌山県教育庁)	_____	嶋本 博規 (清風高校)		市川 真知子 (和歌山北高校教)	福原 文子 (安来高校)
第30回 (1990)	金津 義彦 (島根県体育協会)	_____	川本 賢 (和歌山東高校)		市川 真知子 (和歌山北高校教)	前中 愛 (和歌山北高校)

	男子一部	男子二部	女子一部	女子二部
第31回 (1991)	成宮 憲一 (専修大学)	前部屋 隆規 (和歌山北高校)	市川 真知子 (和歌山北高校教)	宇野 千鶴 (岐阜女子商業高校)
第32回 (1992)	高田 和典 (山形クラブ)	松本 芳彦 (鳥取西工業高校)	加藤 文子 (日本大学)	菅原 美江 (瀬戸高校)
第33回 (1993)	西口 治伸 (和歌山クラブ)	西村 弘樹 (和歌山北高校)	加藤 文子 (日本大学)	磯本 真紀 (和歌山北高校)
第34回 (1994)	牧野 博 (岐阜・田幸)	林 高史 (羽島北高校)	吉松 美紀 (豊田自動織機製作所)	塩嶋 幸代 (甲府湯田高校)

	一般男子	少年男子	一般女子	少年女子		
第 35 回 (1995)	西口 治伸 (和歌山クラブ)	渡邊 卓也 (愛工大名電高校)	小林 正子 (山梨クラブ)	後藤 裕美 (岐阜県立揖斐高校)		
第 36 回 (1996)	三野 昌俊 (京都クラブ)	渡邊 卓也 (愛工大名電高校)	新井 祐子 (江崎グリコ)	大喜 厚子 (羽島北高校)		
第 37 回 (1997)	雨尾 保典 (山交百貨店)	所 将人 (揖斐高校)	新井 祐子 (江崎グリコ)	内海 志保 (甲府湯田高校)		
第 38 回 (1998)	福田 正徳 (大垣クラブ)	小林 政生 (平安高校)	新井 祐子 (藤井毛織)	池端 瑞穂 (梅花高校)		
第 39 回 (1999)	西口 治伸 (和歌山クラブ)	市川 恭也 (和歌山北高校)	内山 美花 (山梨クラブ)	樋口 展子 (四天王高校)		
第 40 回 (2000)	森 敦久 (和歌山クラブ)	市川 恭也 (和歌山北高校)	川西 真紀 (同志社大学)	見須 理恵 (岐阜女子商業高校)		
第 41 回 (2001)	毛利 亨 (和歌山クラブ)	太田 雄貴 (平安高校)	新井 祐子 (朝日大学教)	小中 愛 (和歌山北高校)		
第 42 回 (2002)	西脇 一徳 (中央大学)	太田 雄貴 (平安高校)	内山 美花 (山梨クラブ)	門 裕香 (和歌山北高校)		
第 43 回 (2003)	森 敦久 (和歌山クラブ)	取違 正和 (和歌山北高校)	新井 祐子 (朝日大学教)	伊藤 美咲 (中京女子大附属高校)		
第 44 回 (2004)	西脇 一徳 (羽島北高校)	安部 芳隆 (大川東高校)	川口 香 (中京大学)	中野 希望 (武生商業高校)		
第 45 回 (2005)	森 敦久 (和歌山クラブ)	阪野 弘和 (武生商業高校)	小中 愛 (東京女子体大)	西岡 詩穂 (和歌山北高校)		
第 46 回 (2006)	飯村 栄彦 (京都クラブ)	竹島 賢 (富山西高校)	新井 祐子 (朝日大学クラブ)	西岡 詩穂 (和歌山北高校)		
第 47 回 (2007)	坪井 浩平 (和歌山クラブ)	江口 翔馬 (平安高校)	新井 祐子 (朝日クラブ)	山村 芽衣 (大垣南高校)		
第 48 回 (2008)	山口 徹 (和歌山クラブ)	土屋 勇介 (和歌山北高校)	荻 祥子 (大分クラブ)	平石 典子 (三島高校)		
第 49 回 (2009)	中村 泰樹 (カシワバラコーポレーション)	吉田 玲 (富山西高校)	吹原 麻美 (岐阜クラブ)	川村 理紗 (揖斐高校)		
第 50 回 (2010)	坪井 浩平 (和歌山クラブ)	高阪 一世 (愛工大名電高校)	川口 香 (カシワバラコーポレーション)	大石 菜菜 (大分選抜チーム)		
第 51 回 (2011)	菊池 竜也 (朝日大学)	伊藤 真 (大垣南高校)	松本 伊世 (和歌山クラブ)	西岡 真穂 (和歌山ジュニアクラブ)		
第 52 回 (2012)	山口 徹 (和歌山クラブ)	三好 修平 (三島高校)	松本 伊世 (和歌山クラブ)	向井 愛美 (富山西高校)		
第 53 回 (2013)	齋藤 有 (株鶴弥)	鈴木 健太 (はしまモア)	家永 妃里 (大阪市信用金庫)	伊藤 真希 (大垣南高校)		
第 54 回 (2014)	齋藤 有 (株鶴弥)	佐々木 拓海 (岩国工業高校)	後藤 伊世 (和歌山クラブ)	東 莉央 (和歌山北高校)		
第 55 回 (2015)	伊藤 真 (日本大学)	佐々木 拓海 (岩国工業高校)	後藤 伊世 (和歌山クラブ)	東 莉央 (和歌山北高校)		
第 56 回 (2016)	伊藤 拓真 (大垣南高校)	田中 啓暉 (向陽高校)	辻 すみれ (岐阜総合学園高校)	東 晟良 (和歌山北高校)		
第 57 回 (2017)	三宅 諒 (フェンシングステージ)	井神 俊兵 (和歌山北高校)	伊藤 真希 (日本大学)	巾下 菜奈 (和歌山北高校)		
第 58 回 (2018)	永野 雄大 (中央大学)	飯村 一輝 (龍谷大平安中学)	九野 桃佳 (和歌山クラブ)	竹山 柚葉 (大阪読売千里クラブ)		
第 59 回 (2019)	飯村 一輝 (龍谷大学付属平安高校)	堀部 聖太 (岩国工業高校)	福塚 世帆 (日本女子体育大学)	竹山 柚葉 (乙訓高校)		
第 60 回 (2021)	シニア男子	高校生男子	中学生男子	小学生 4・5・6 年男子	小学生 1・2・3 年男子	
	松山 恭助 (JTB)	弓長 昇主 (愛工大名電高校)	榎本 蔵人 (AJHSC)	米山 怜旺 (大垣クラブ)	米山 颯優 (大垣クラブ)	
	シニア女子	高校生女子	中学生女子	小学生 4・5・6 年女子	小学生 1・2・3 年女子	
	竹山 柚葉 (乙訓高校)	岸本 鈴 (龍谷大平安高校)	岩橋 英莉花 (ワセダクラブ)	白石 瑠花 (TFS)	石黒 瑠愛 (はしまMOA)	
第 61 回 (2022)	シニア男子	高校生男子	中学生男子	小学生 5・6 年男子	小学生 3・4 年男子	小学生 2 年以下男子
	永野 雄大 (NEXUS FC)	高橋 橙生 (大垣南高)	小野 凌駕 (大阪読売千里C)	土田 悠人 (RITZ FA)	米山 颯優 (大垣クラブ)	曾根 三蔵 (レ・フレイール)
	シニア女子	高校生女子	中学生女子	小学生 5・6 年女子	小学生 3・4 年女子	小学生 2 年以下女子
	辻 すみれ (大垣共立銀行)	竹山 夏芽 (乙訓高)	清水 菜乃 (大山崎中)	三輪 楓華 (はしまMOA)	山畑 歌子 (香川JFC)	小野 紗佑里 (福山FC)
第 62 回 (2023)	シニア男子	高校生男子	中学生男子	小学生 5・6 年男子	小学生 3・4 年男子	小学生 2 年以下男子
	伊藤 拓真 (NEXUS FC)	竹中大貴 (龍谷大平安高校)	白男川 瞬 (大阪読売千里ク)	島村 大翔 (八王子FC)	才木 勝太 (富山パレスFC)	井上 響 (RITZ FA)
	シニア女子	高校生女子	中学生女子	小学生 5・6 年女子	小学生 3・4 年女子	小学生 2 年以下女子
	巾下 菜奈 (日本女子体育大学)	清水 菜乃 (乙訓高校)	高橋 ののか (はしまモアFC)	田代 ゆう (NEXUS FC)	石黒 瑠愛 (はしまモアFC)	西村 侑珠 (香川JFC)



フェンシングルール説明

フルーレとは Fleuret



フルーレは、3種目の競技のうち1番基本的となるもので、突きだけを用います。

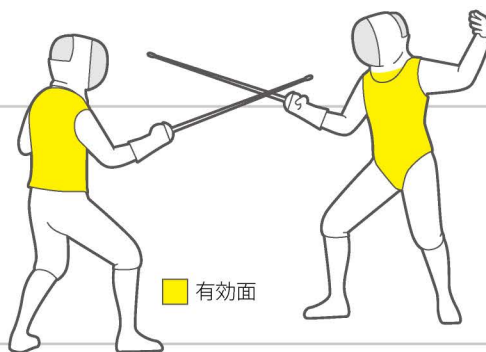
昔、まだ剣術の練習に真剣をつかっていたころ（マスクもなかった）、危険をさけるため約束事を決めました。それは、相手が攻撃をしてきたならば、その剣を払ってからでなければ反撃してはならないということです。この練習のための技術がスポーツ化したものです。

フルーレでは「攻撃をするためには、まず腕を伸ばす」ことから始まり「攻撃されれば、相手の剣を完全に払いのけて攻撃」をしなければなりません。この攻撃と反撃の剣と剣の渡り合いが、フルーレの最大の見どころといえるでしょう。フランスでは、この剣と剣の攻防をPhrase d'arme: フラーズ・ダルム（剣の旋律）と表現するほどです。

フルーレには有効面と無効面があり、有効面は金属繊維で出来ているジャケットを着用した部分（頭・両足・両腕を除いた胴体部分すべて）とマスクの一部（ビブ）です。その部分を突くと突いた選手側の「赤」または「緑」の色ランプが点灯し、突いた選手の得点が入ります。無効面を突くと、「白」のランプが点灯します。両方のランプがほとんど同じに点灯した場合などは、試合規則によってどちらかの攻撃が有効であったか、あるいは「同時攻撃」であったかを、主審が判定します。

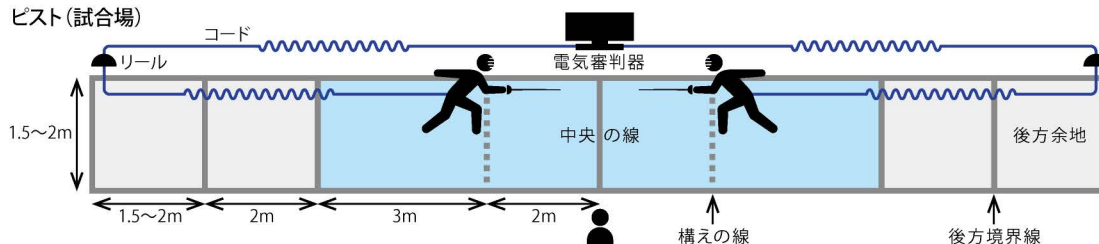
ターゲット

- 剣の重さ 500g以下
- 剣の全長 110cm以下
- ガードから剣先まで 90cm以下
- ガードの直径 12cm以下



剣先には500gの強さのバネが入っていて、これ以上の力で突くとランプが点灯します。剣はしなやかで、昔、剣先に色のついたポイントをつけられていたため、フランス人はこの種類を花（Fleure: フルーレ）にたとえたことから、「フルーレ」という名前が生まれました。

ピスト（試合場）



審判のジェスチャーと号令

試合中、審判は何を言っているの？

フェンシングの用語は全てフランス語!!

● 試合開始前 (選手への号令)

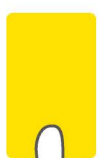


● 試合中 (審判から見て右側の選手に得点が入った場合)

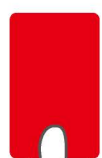


フェンシングにも警告カードがある

イエローカード
(警告)

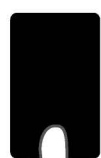


レッドカード
(相手に1ポイント入る)



※イエローカードの2枚目が出たら
レッドカードに変わる

ブラックカード
(退場)



工場

まるっと

ソリューション

お客様の工場のお困りごとに**ワンストップ**で対応可能



新たなお困りごと解決のため、

CN 関連商材 や **工作機械** にも取り組んでいます。



株式会社マルエム商会

国内販売拠点

本社・名古屋支店

愛知県名古屋市中区錦1丁目18番22号 名古屋ATビル8階

TEL : 052-231-7461

東京、静岡、愛知〔一宮本店、豊田〕、
富山、大阪、愛媛、福岡

海外販売拠点

中国〔広州、天津〕

HPはこちらから↓



<https://www.maruem.jp/>



DAIKYOOHTA
ダイキョーオータ株式会社

縫製力と寄り添う心で、
理想を仕立てる帽子メーカー

人を想う心で、 生きやすい暮らしと社会の 実現に貢献します。

わたしたしは、被服を通じて人々の暮らしを支える帽子メーカーです。
オリジナルの帽子や衣料品であらゆる人や企業の「自分らしさ」を表現し、
自己実現を果たすと同時に、日々の生活に豊かさをもたらすお手伝いを
しております。



ダイキョーオータ株式会社

本 社

〒454-0839 名古屋市中川区篠原橋通3丁目31番地
TEL (052) 351 - 5111 Email: info@daikyo-ohta.co.jp

東京営業所

〒165-0026 東京都中區新井2丁目1番地16号 K・M・Tビル501
TEL (03) 5345 - 5808 Email: tokyo@daikyo-ohta.co.jp



フェンシングを もっと自由に!!

日本初フェンシングトレーニング用無線審判器



Escbéré

フェンシング無線審判器
『エスクベール』

2024年秋頃発売予定

Escbéré（エスクベール）の名称およびロゴマークは、株式会社タマディックの商標登録です。

株式会社タマディックは、フェンシング日本代表を応援しています

TAMADIC

創るチカラ、変えるチカラ



提案力と課題解決力で
信頼に応える総合機械商社

フルエング株式会社

利

夢・希望・感動をあなたに



近畿日本ツーリスト



伝えたい情熱のすぐそばに。



Kyosei
Printing Co., Ltd.

共生印刷株式会社

〒460-0007 名古屋市中区新栄2-11-6

TEL(052)251-2281 FAX (052)242-0031

<https://www.kyosei.jp>

モノづくりに寄りそい115年。
人と暮らしの未来を支えます。



nodaki

創業以来、機械工具の専門商社として日本の製造業の発展をサポートし113年。目まぐるしく急速な変化を遂げる時代に、真摯にお客様のお役に立てよう満足のいく、情報とサービスの品質向上に努めて参りました。また私たちは、地球環境の保護が人類共通の重要課題であることを認識し、企業活動のあらゆる面で、地球環境の継続的な改善及び汚染の予防に考慮し、人の暮らしと未来を支える企業として、機械工具の専門商社だけに留まらず、様々な活動を行っております。

株式会社ノダキ【本社】 〒451-0045 愛知県名古屋市中区名駅3-10-26 TEL:052-561-4371 FAX:052-561-4379

【グループ企業】株式会社ノダキ シーアンドシー／株式会社ノダキ興産／NODAKI (THAILAND) CO.,LTD.／洛塔起精密工具貿易(上海)有限公司

お問い合わせはHPまたは各種SNS各種にてお問い合わせください。

Instagram (@nodaki.co.ltd)

<https://www.instagram.com/nodaki.co.ltd/>

Facebook (@kkNodak)

<https://www.facebook.com/kkNodaki/>

株式会社ノダキ HP

<http://nodaki.jp>



中日本フェンシング選手権大会を
応援しています



uhlmann
FENCING



Kyoto Fencing Equipment

有限会社KFE(京都フェンシング用品)

〒600-8035

京都市下京区寺町通高辻下る京極町497-3

TEL.075-341-7725 FAX.075-341-7730

<http://www.kfe-fencing.jp>



allstar[®]
INTERNATIONAL

Solo and only authorized distributor in Japan

TOKYO FENCING Co., Ltd.

www.tf-fencing.co.jp

EuroFencing
proprietaria del marchio
DUECI
ESCRIME
Italia

BLAISE
Frères



NEGRINI
FENCING LINE



Absolute Fencing Gear

AF

Favero
ELECTRONICS

TOKYO
FENCING

フェンシング用具総合メーカー

株式会社 東京フェンシング商会

〒176-0022 東京都練馬区向山1-14-2

TEL: 03-5848-3126 FAX: 03-5848-3127

営業時間: AM10:00~PM6:30 定休日: 火曜日



英国レオンポール社

LEON Paul London



ビブ交換マスク



ワイヤーレス審判器

東京フェンサーズ

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 4-3-16

TEL 0422-22-1165 FAX 0422-22-1169

E-mail hi-t.s@tokyo-fencers.com

ホームページ <http://www.tokyo-fencers.com>

過去の大会



[特設サイト]



[特設サイト]



[特設サイト]



[LIVE配信]



[LIVE配信]



[LIVE配信]



**Federation
Aichi
d'Escrime**